

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開
----------	--

※「5 議題、内容及び結果」における記号の説明

「○」…委員の発言

「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

第3回「西部清掃工場更新」における

浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年2月21日 13時00分から15時30分
- 2 開催場所 市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況

出席委員	山口 直也 教授（青山学院大学大学院）
	荒井 喜久雄 技術顧問（(社)全国都市清掃会議）
	佐古 猛 特任教授（静岡大学創造科学技術大学院）
	高平 めぐみ 弁護士（静岡県弁護士会）
	花嶋 温子 准教授（大阪産業大学）
	石切山 真孝 部長（財務部）
	村上 隆康 本部長（カーボンニュートラル推進事業本部）
	藤田 信吾 部長（環境部）
事務局	環境部廃棄物処理課
	石原課長、河野専門監（課長補佐）、徳田副主幹
- 4 傍聴者 非公開の為、0人
- 5 議題、内容及び結果

議題1 西部清掃工場更新事業に係るアドバイザー業務の公募型プロポーザル審議
 アドバイザー業務のプロポーザル参加者は、「パシフィックコンサルタンツ株式会社 静岡事務所」1者。プロポーザル方式実施説明書に従いヒアリングによる第二次評価を実施し、受託候補者を特定した。

（総評）

- プロポーザル参加者は、市の現状を良く理解している。
- プロポーザル参加者は、兼務が多いことが気になる。時間に制約がある中で書類の不備に手間取られず本質的な検討ができるよう、クロスチェックなどを活用しながら進めるべき。
- 事業者選定における評価項目の定量化についての質問に対して、回答が不明瞭な点が気になった。

- 近年は整備費の上昇など、事業環境が難しくなっているため、契約締結後は、市との連携を密にしながら事業を進めること。

議題2 更新基本計画について（報告）

（意見）

- 二つの処理方式を選定対象にしているが、定量評価する難しさがある。CO2 排出や燃料代高騰などを考慮に入れつつ、処理方式をひとつの方式にするものがあるのではないか？

（質疑応答）

- 供用開始時期（工期）は決定しているか？
- ◎ 供用開始時期（工期）は決定せず、ごみ処理開始を試運転期間の調整などで対応したい。

議題3 PFI 手法等導入可能性調査について（報告）

（意見）

- 市が事業者が決まった支払いをするサービス購入型の BTO は、インフレリスクが高まっている現状において、物価変動の調整するにしても、直ぐに反映できないので、民間に一定のリスクをとまうから、事業収益の不安定性が高まる。その場合、資金調達でリスクプレミアムが加算されてくるので、今回試算の VFM より、さらに BTO は、不利になると考える。

（質疑応答）

- 売電の帰属は市になるとして売電の最大化は、事業者を求めるのか？
- ◎ 求めることになる。

審議の結果

- 議題1 西部清掃工場更新事業に係るアドバイザー業務の公募型プロポーザル審議について、契約アドバイザー業務委託の受託候補者に、パシフィックコンサルタンツ株式会社 静岡事務所を特定した。
- 議題2 更新基本計画について、確認した。
- 議題3 PFI 手法等導入可能性調査について、確認した。
なお、PFI 手法等導入可能性調査にて検討した更新工場の事業方式について、DBO 方式が適していることを確認した。

- 6 会議資料の名称 企画提案書等評価表
プロポーザル方式実施説明書
企画提案書
更新基本計画書
PFI 手法等導入可能性調査報告書

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

- 8 会議録署名人 山口 直也
高平 めぐみ